

MA-T®認証マークで真贋判定

次世代個体認証技術 Deep IS™を活用した社会実証実験中

一般社団法人日本 MA-T 工業会(本社:東京都千代田区 以下「工業会」)は、工業会の会員企業である株式会社フジシールインターナショナルのグループ会社である株式会社フジタックが開発した次世代個体識別技術「Deep ISTM(ディープ・アイズ $^{\text{TM}}$)を活用し、将来の MA-T®認証商品の偽造品リスクに対して、社会実証実験を行っています。



「MA-T®認証マーク」(図 1)を、スマートフォン*のカメラで撮影し、専用アプリで真贋判定する仕組みです。Deep ISTM を用いることで、既存デザインである「MA-T®認証マーク」はそのままで、画像とアルゴリズムによりステルス個体識別が可能となります。

今回は、MA-T®を配合したマウスウォッシュ(ポーションタイプ:5個入)のサンプル品 2種類 (図 2) で、外袋に貼付した「MA-T®認証マーク」(カラーシール)が個体識別に対応しています。 専用アプリの導入方法と真贋判定の実施方法は、アプリのインストールガイドをご覧ください。

※読取可能機種は限られます



アプリのインストールガイド





図 1. MA-T®認証マーク

図 2. MA-T®マウスウォッシュポーションサンプルの外袋

【Deep ISTM とは】

Deep IS™は、人の目では違いが分からない印刷物等を個体識別し登録・再認証できる技術です。フジシールインターナショナルは、2019 年にスイスの個体識別技術のスタートアップ企業である Dynamic Element AG 社に資本参加し、日本市場の独占的ライセンスを取得、パッケージ用途への適合化を実現しました。従来のパッケージデザインを変えることも、特別な加工を行うこともなく、真贋判定できる画期的なシステムです。

(https://www.fujiseal.com/jp/product/tac/deep-is.html)

<お問い合わせ窓口>

一般社団法人日本 MA-T 工業会 メール: info@matjapan.jp

以上